

盛岡広域振興局長

提出者 リコージャパン株式会社
デジタルサービス営業本部岩手支社
住所 〒020-0866 岩手県盛岡市本宮3丁目36-45
氏名 支社長 成田 憲治

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

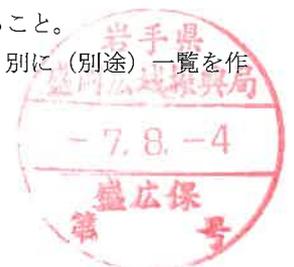
主たる工場又は事業場の名称	岩手支社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県盛岡市本宮3丁目36-45	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	34 k1	*施設番号	
自動車の使用台数	108 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡事業所	〒020-0866 盛岡市本宮3丁目36-45	21 k0
奥州事業所	〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字川原田85-1	5 k0
花北事業所	〒024-0004 北上市村崎野17地割172-4	3 k0

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(R6)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量								
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D	数値 E	単位 F					
原油(コンデンセートを除く)		kL				kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL				kL					
揮発油(ガソリン)		kL				kL					
ナフサ		kL				kL					
ジェット燃料		kL				kL					
灯油	0.52	kL	19			kL	19	1	2	-1	
軽油		kL				kL					
A重油		kL				kL					
B・C重油		kL				kL					
石油アスファルト		t				t					
石油コークス		t				t					
化石燃料	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	10.40	t	521	t	521	31	27	4	
	石油系炭化水素ガス			千m ³		千m ³					
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)			t		t				
		その他可燃性天然ガス			千m ³		千m ³				
		原料炭	輸入原料炭		t		t				
	石炭	原料炭	コークス用原料炭		t		t				
			吹込用原料炭		t		t				
		一般炭	輸入一般炭		t		t				
			国産一般炭		t		t				
		輸入無煙炭		t		t					
石炭コークス				t		t					
コールタール				t		t					
コークス炉ガス				千m ³		千m ³					
高炉ガス				千m ³		千m ³					
発電用高炉ガス				千m ³		千m ³					
転炉ガス				千m ³		千m ³					
その他の燃料	都市ガス			千m ³		千m ³					
	()			千m ³		千m ³					
非化石燃料	黒液			t		t					
	木材			t		t					
	木質廃材			t		t					
	バイオエタノール			kL		kL					
	バイオディーゼル			kL		kL					
	バイオガス			千m ³		千m ³					
	その他バイオマス			t		t					
	RDF			t		GJ/t					
	RPF			t		GJ/t					
	廃タイヤ			t		GJ/t					
	廃プラスチック(一般廃棄物)			t		GJ/t					
	廃プラスチック(産業廃棄物)			t		GJ/t					
	廃油			kL		GJ/kL					
	廃棄物ガス			千m ³		千m ³					
	混合廃材			t		t					
	水素			t		t					
	アンモニア			t		t					
その他燃料()											
小計①							540	32	29	3	
熱	産業用蒸気		GJ			GJ					
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
	温水		GJ			GJ					
	冷水		GJ			GJ					
	地熱		GJ			GJ					
	温泉熱		GJ			GJ					
	太陽熱		GJ			GJ					
	雪氷熱		GJ			GJ					
	小計②										
	電気事業者①	51.89	千kWh	448		千kWh	448	21	27	-6	
電気事業者② ※複雑契約している場合使用	93.60	千kWh	337		千kWh	337	43	40	3		
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
自家発電	太陽光		千kWh			千kWh					
	水力		千kWh			千kWh					
	風力		千kWh			千kWh					
	その他		千kWh			千kWh					
小計③						785	64	67	-3		
合計 ④=①+②+③							1,325	97	96	1	

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	34	kL
--------------	----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	97 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂	
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂	
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂	
合計	97 t-CO ₂	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (令和6年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	108 (0)	102,990 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	235,860 kg-CO ₂	91.4
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.402 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	108 (0)			235,860 kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の () には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和5年度を基準とし、基準年度比で使用量を令和8年度までに3%削減を目標にしてきました。令和6年度は、8.6%削減することができました。

具体的な取組の他、二戸サービスセンターの閉鎖も多少影響がありました(令和5年度は524L使用していた)1年目で達成したことになりますが、維持しつつ、引続き削減に取り組んでいきたいと思えます。

【具体的な取組状況】

①車内整理されているか、不要な荷物や過剰に積載していないか等の車両点検を毎月行い、エコドライブに努めました。

②打合せや勉強会は、Microsoft Teamsを利用したリモートにし、集合型による自動車移動を控えるようにしました。

③営業活動における売買に関わる契約締結は、訪問ではなく電子契約をMUSTとしDX化により、営業活動効率を上げることで抑制しました。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項